

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0176700540		
法人名	有限会社 そうせい舎		
事業所名	グループホーム あったか宝来館		
所在地	稚内市宝来2丁目2番19号		
自己評価作成日	平成25年8月26日	評価結果市町村受理日	平成25年9月18日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

力を抜いて、ゆったり、のんびり暮らせるようなケアをする事に力を入れてます

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL http://www.kaigokensaku.jp/01/index.php?action=kouhyou_detail_2012_022_kani=true&JigyosyoCd=0176700540-00&PrefCd=01&VersionCd=022

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	タンジェント株式会社
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内
訪問調査日	平成25年9月12日

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

<地域の人々との交流・連携>
町内会主催の津波避難訓練に参加して、緊急時に速やかに対応ができるように協力体制づくりをしている。また、敬老会に地元の人々が参加したり、地域のお祭りに協力して事業所の1階部分を開放し、調理やお祭りの準備に利用するなど地域との交流・連携に取り組んでいる。

<戸外に出かける支援>
地域のお祭りへ出かけたり、花見や買い物等戸外へ出かけられる機会を多くできるように取り組んでいる。また、サマーフェスティバルを開催して、小学生の踊りやソーラン節等を楽しんだり、外食や畑で収穫した野菜を調理して食事するなど普段では出来ない楽しみごとや戸外に出かける支援をしている。

. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) 項目 1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します			
項目	取り組みの成果 該当するものに 印	項目	取り組みの成果 該当するものに 印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を 掴んでいる (参考項目:23,24,25)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求 めていることをよく聴いており、信頼関係ができ ている (参考項目:9,10,19)
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面が ある (参考項目:18,38)	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地 域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係 者とのつながりが広がり深まり、事業所の理 解者や応援者が増えている (参考項目:4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表 情や姿がみられている (参考項目:36,37)	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)
60	利用者は、戸外に行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満 足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく 過ごせている (参考項目:30,31)	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにお おおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟 な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)		

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念は掲示し日々のケアの礎としている。地域密着型区分以前に創り上げたものであり、職員の入替わりもあり新しい理念を模索していこうと考えている	日々のケアや内部研修、モニタリングを通じて、理念を共有し、その実践に取り組んでいる。	開設からの理念を職員全員が参加して、見直す機会を設けているので、その実践に期待します。
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域のお祭りに事業所の1Fを開放し、調理や下準備に利用して頂いている	町内会主催の津波避難訓練に参加して、緊急時に速やかに対応ができるように協力体制づくりをしている。また、火災避難訓練に地域の人達が参加するなど地域との交流・連携に取り組んでいる。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	事業所は地域に浸透しており少ないながら介護や認知症について相談に来られる方はいる		
4	3	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	利用者の実際や防災等について話しあっている	津波避難訓練や火災等の防災訓練など運営推進会議で具体的に話し合い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	今後は、運営推進会議を定期的に行うことができるよう計画しているのでその実践に期待します。
5	4	市町村との連携 市町村担当者や日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	広報紙を毎月閲覧願っている市からの研修・調査には積極的に応じている	市や包括支援センターに事業所の広報誌を配布し、事業所の取り組み等を情報提供したり、地域ケア会議や定例の研修会に参加するなど協力関係を築くよう努めている。	
6	5	身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	禁止の対象となる具体的な行為について理解している。日々のケアの中で生じる疑問はその都度話し合い解決するようにしている	法人内研修や内部研修、日々のミーティングを通じて全ての職員が指定基準における禁止の対象となる具体的な行為を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修会を行い日々のケアの中で虐待が見逃ごされていないか検証に努めている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	制度を利用されている方がおらず活用支援にはいたっていない		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	締結、改定等の際はご理解頂けるよう充分説明し納得頂いている		
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家庭訪問時や面会に来られた時要望等をお聞きしている	ご家族毎に行事参加の様子や日常生活、健康状態等を職員自筆のお手紙で情報提供したり、広報誌「あったか風便り」で事業所の取り組み等を紹介して、意見や要望等を言い表せる機会を設けている。	
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	定例ミーティングで意見や提案を汲み上げるよう努めている	定例のミーティングやモニタリングで職員の意見や要望、提案を聞くよう機会を設けている。また、外部講師や言語聴覚士等を招聘し、職員の段階に応じた研修実施でケアサービスの質の向上に取り組んでいる。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表者はやりがいのある職場環境づくりに努めている		
13		職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	代表者は個々の実際を把握し研修要件を満たす職員を積極的に研修へ派遣している		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	毎年、主催する講演会等を開き同業者との交流の機会を設けている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	当ホームに早く馴染んでいただけるよう努めている特に初期に於ける本人の不安感の解消に努めている		
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族に要望等充分お伺いし、当ホームの介護理念をお話しし早期に信頼関係を築けるよう努めている		
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人や家族とのお話の中から今一番必要な支援を見極め対応している		
18		本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	本人が今出来る事をして頂いている。職員も一諸にする事で共に暮らしていく者としての関係を築いている		
19		本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ホーム入所で安心できより本人との絆が深まるよう家族に働きかけている		
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人の要望があればなじみの場所に出かけたり馴染の人に会いに行ったり、会いに来ていただけるよう支援している	近隣住民や地域ボランティア、家族や友人・知人等に敬老会参加を呼び掛けて、馴染みの人との交流や家族との関係が途切れないように支援に努めている。	
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	個々の性格、相性を把握しテーブル席など配慮している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	お亡くなりになっての契約終了なので、年を重ねるごと疎遠になっていく事は否めない。もちろんご家族から相談事や支援要請があれば応じる		
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	意思伝達が困難な利用者さんであっても、仕草、表情から本人の思いをくみ取るよう努めている	一人ひとりの生活歴や思いや暮らし方の希望の把握に努め、モニタリングや定例ミーティングで職員間で話し合い、本人本位に検討している。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	家族からの聞き取りや、本人との会話を聴いてこれまでの暮らしの把握に努めている		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	個人記録票に記載し一人ひとりの現状の把握はなされている		
26	10	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	つき月1度モニタリングしその都度必要となる関係者があれば参加をお願いしている	毎月のモニタリングや家族との意見交換で意見や要望を反映し、現状に即した介護計画となっている。また、状態変化時には都度、介護計画を見直している。	
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人記録票とは別にノートがあり毎日の気づき、工夫等記して職員間での情報の共有に努めている		
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに匹敵しない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	遠方より来られるご家族から宿泊希望があれば応じている		
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の祭り等に参加している。幼稚園や小学校との交流も促進している		
30	11	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人、ご家族の希望する病院、医院、薬局での受診、調剤を継続するようにしている	本人や家族の希望するかかりつけ医となっている。また、通院への支援や訪問診療で適切な医療を受けられるように支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	法人内の看護師にに適時助言を受け個々の利用者が適切な受診を受けられるよう支援している		
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入、退院時家族と共に医師から説明を受けている入院中は毎日スタッフが見舞い、安心して治療が出来るよう支援している		
33	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	当ホームで出来る事出来ないことをご家族にはご理解いただき、ご家族の意向にそえるようには支援している	早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、重度化した場合や終末期のあり方について、事業所ができることを十分に説明しながら方針を職員間で共有している。	
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	救急救命講習を定期的に行っている		
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回避難訓練を実施している。地域の方にも参加いただいている	津波避難訓練への参加や火災避難訓練には、地域の人々が参加し、避難経路の確保や避難場所について話し合い協力体制が得られている。	
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	居室立ち入りには声をかけ承諾を得てからにしている。排泄時の言葉かけには配慮している	日々のケアや外部研修参加、内部研修を通じて一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉がないように職員間に周知している。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人が思いを表せたり自己決定出来るようスタッフは意識的に努めている		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その日ごとの個々の体調、気分での生活を最優先としている		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	外出時の服など職員と一緒に選んでいる。洗顔、化粧水など時間がかかっても見守るようにしている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	外食や流しソーメン等食が楽しめるよう努めている日々盛り付け片付けなど職員と一緒にやっている	ラーメンやウニ丼など本人の希望する外食支援や職員と一緒に料理の準備や後片付け等食事が楽しみなものになるよう支援している。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個々の状態に合わせて食べ物の形状を工夫して提供している		
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後の声かけを行っている。言語聴覚士の指導を受け口腔ケアをおこなっている		
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	個々の排泄パターンを把握し、声かけ誘導することで排泄の失敗減に努めている	一人ひとりの力や排泄パターンを排泄チェック表で把握し、声掛けや誘導でトイレで排泄できるように支援している。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	医師の指示をあおぎ便秘薬を増減している。個々の能力に合わせた軽体操を行っている		
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	入浴時間は決めていない。夜更けや早朝は対応できないが、汚れのひどい場合シャワー浴や清拭で支援している	入浴時間は決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴が楽しめるように支援している。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	夜間巡回時眠りを妨げる事のないよう気を配っている		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個々の薬ファイルで薬の目的、用法等また変更等が記載されており職員の理解をえられている		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	飾りづくりや家事、繕いもの畑仕事等一人ひとりの力に合わせた役割や楽しみごとを提供している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	<p>日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>花見など出来るだけ全員ででかけるようにしている介助スタッフも夜勤者や他事業所から来てもらい手厚いサポート体制を組んでいる</p>	<p>地域のお祭りへ出かけたり、花見や買い物等戸外へ出かけられる機会を多くできるように取り組んでいる。また、サマーフェスティバルを開催して、小学生の踊りやソーラン節等を楽しんだり、外食や畑で収穫した野菜を調理して食事するなど普段では出来ない楽しみごとや戸外に出かける支援をしている。</p>	
50		<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>買い物に行ったときはなるべく本人がレジで支払うようにはしている</p>		
51		<p>電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>手紙はないが電話でのやり取りはたまにある</p>		
52	19	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>季節感のある壁飾りを一緒に作りかざっている。建物も古く壁の傷はしかたがないが、不快な臭いがしないように特に配慮している</p>	<p>改装型のグループホームで、季節ごとの飾り付けや手作りの作品の掲示などで季節感や生活感が感じられる工夫をしている。また、共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮している。</p>	
53		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>特別なスペースはないがソファやテーブルで何かしながらお喋りしたりしている</p>		
54	20	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>部屋に入るものであれば仏壇や鉢植えでも本人が快適に暮らすうえで必要なものであれば制限していない</p>	<p>仏壇や鉢植え、馴染みの家具や寝具等が持ち込まれたり、家族の写真や手作りの作品等が飾られて、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	
55		<p>一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>手すりを増やしたりし、安全、自立した生活を送れるよう支援工夫している</p>		

目標達成計画

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	現行理念は地域密着サービスに区分分けされる前に掲げたもので、また創りあげた時とスタッフの入れ替わりもあり現スタッフによる理念の見直しが必要とされている	地域密着サービスの意義を踏まえたスタッフが自らのものとして共有しうる理念の創出	スタッフ個々の思い、理念を提出しミーティング等で話し合いを重ね、新しい理念として集約していく	1年
2					
3					
4					
5					

注1)項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入して下さい。

注2)項目数が足りない場合は、行を追加して下さい。